

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、高め～甚だ高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の44%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり86kgの水揚げで、前週の73%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり847kgの水揚げで、前週の28%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり21kgの水揚げで、前週の64%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり21kgの水揚げで、前週の2%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり332kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり2.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり21kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マガツオなどが1日1統当たり361kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり341kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/14～10/19の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～新潟沖～山形沖で操業。
鳥取県西部（沖合船）4日延45隻、総計2,827箱、1航海最高176箱、平均26.8箱。
スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>